

<第2次総合計画進行管理表>

施策評価表

作成日 令和04年06月24日(金)

1. 基本事項

施策		就労環境の整備		期間	平成30年度～令和4年度	施策担当部課名	産業振興部 商工振興課
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち	目的・対象	市内勤労者の労働環境が維持・向上されることを目指します。		
	中項目	2	雇用とにぎわいを生み出すまちづくり				
	小項目	3	就労環境の整備				
	主要プロジェクト						
重要度・満足度	本施策は重要度が高く満足度が低い。求職者の雇用情勢は好転しているが、性別問題、年代問題等個別の分野にある問題点が満足度を下げる要因となっているのではないか。			施策推進のための主な取組	意欲ある人が働くことができる環境を整える。 安心して働くことができる環境づくりを支援する。		
施策を取り巻く社会状況等	人口減少社会を迎え、企業を支える労働者の減少が危惧され、国においては女性や高齢者の就労機会の確保に向けた施策を展開している。また就労先で離職しないよう定着に向けた取り組みが進められている						

2. 評価指標

上段は目標値、下段は実績値

区分	指標名(上段) 算出式・説明(下段)	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				一部達成	一部達成	一部達成	一部達成	
成果指標	有効求人倍率	倍	-	1.18	1.23	1.28	1.33	1.38
	熊谷公共職業安定所管内 有効求人数/有効求職者数		1.17	1.16	1.15	0.91	1.12	
	仕事と生活のバランスがとれている市民の割合	%	-	64.70	65.70	66.70	67.70	68.70
	深谷市民まちづくりアンケート		66.40	65.20	70.90	71.40	70.30	

3. 一次評価(今後の施策の方向性)

区分	現状維持	1. 現状維持	2. 拡充	3. 縮小
新型コロナウイルス感染症の影響により、求人倍率はやや低調であったが、年度末に向け上昇傾向となっている。 また、仕事と生活のバランスは取れている市民の割合は平年並みとなり家族と過ごす時間などが増加している。 今後も、社会情勢を注視しながら国や県と共同しセミナーや相談会などを開催し雇用の創出に努めていく。				
			評価者	商工振興課長 岩田 展雄

4. 改善改革プラン(3. 一次評価を受けての具体的な解決策)

区分	具体的な対応策等
<input type="checkbox"/> 既存事業の拡充	今後も、国や県と共同しセミナーや相談会などを開催していく。 新型コロナウイルス感染症の影響による雇用環境の悪化に関しては、国の労働施策の枠組みや、国や県の動向を注視しながらセミナーや相談会などを開催していく。
<input type="checkbox"/> 事業の新規立案	
<input type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小	
<input type="checkbox"/> 事務事業の再編	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	

5. 二次評価(所属長の見解)

就労及び労働環境の整備については、国の機関であるふるさとハローワークと埼玉県と共同で運営するセカンドキャリアセンターがキララ上柴に有り、事業の共同実施など連携し事業を進めてきた。 また、熊谷市・深谷市・寄居町において共同設置しているワークメイト大里では、中小企業に勤める従業員や事業主の支援を行い就労環境の整備を行うことができています。 事業を行う上で、国や県との連携は重要であり、今後も協力し事業を進める。	
所属長	産業振興部長 佐藤 靖彦